

寸言

株式会社 ジーエイチクラブ
代表取締役社長
木村 學



軽い！速い！へ一歩ずつ

このたび入会、「寸言」でご挨拶の機会をいただきありがとうございます。昨年パシフィコ横浜で開催されました国際航空宇宙展に当社「QTW-UAS」を、機体メーカー各社の中に出展させていただきました。この機体システムは設計製作、自律制御、プログラム飛行システムなど開発全工程を社内の若い社員が担当し、試験飛行とデモ飛行を続けながら、会社敷地境界監視飛行などを何とかできるところまでになりました。諸先生方の指導や共同研究を一部いただきながら、「鳥人間」や「ロボコン少年」OBが自前で全ての工程を担当し、ブラックボックスを排除する方針を貫きました。まだまだ稚拙な部分が残っているものの商品化へ向け頑張っております。

当社は、樹脂系炭素繊維複合材料（CF複合材）を主構造とする乗り物などの試作開発を主として行っています。

速い・軽い・それを安く早く！社内で設計から製品まで、一气通貫で取り組むことで業界のお役に立つべく努力しております。

社員は総勢50名、技術部員が半分を占め、製造現場と設計が一体になってモノ造りを行う工房と言ったところです。

CF複合材構造は、当社のように小規模な会社でも、設計から製造までを一貫して行うことができることなどから使い勝手が良く優れていると思っておりますが、それを工業的量産に結びつける、または大型構造物をできる限り大モジュールで作る、となるとまだまだ超えなければ成らない課題が山積みだ、とも感じています。

これらの課題に取り組むことが、当社の仕事と考え、この先15年25年先への準備を始めています。

その一つとして、大型製品を試作組み立て可能な120m×40m、高さ10mの比較的大きな工房を一昨年確保しました。

創業以来40年近くなりますが、研究開発型ベンチャー企業の経営は大変です。そこで昨年縁あって、帝人グループの一員になりました。この事で今後帝人グループの各種機能性材料、炭素繊維からアラミド繊維、熱可塑樹脂から幅広いソリューションを活かす帝人複合材開発センター：TCICと表裏一体となり従来お応え出来なかった規模の仕事も担当出来る体制が少しずつ出来てきております。

私どもの仕事はハイテク工芸品的作業と認識しており、これは何時の時代も必要です。現在そして未来に向けて常に最新設備・機械装置や設計支援Toolのバージョンアップや投資が必要です。必要な設備・工作機械などを社内で造る事も行っています。

経験の浅い若い社員が多いことから全工程を水平分業せず、材料試験、設計から最終工程・評価にいたる全工程を出来る限り図面を書いた技術者本人が体験するようにしています。

陸海空の複合材構造・乗り物、超軽量化、低コスト化が求められるものなど、是非御声を掛けていただければ幸いです。

本工業会の一員としてお役に立てるよう精一杯努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。